

「中共百年史書評会」

【日時】2023年3月5日（日）13:30-17:20

【会場】京都大学総合研究4号館共通1教室

【言語】日本語（中国語による論評と討論部分については、適宜日中間の通訳をつけます）

【形式】会場参加のみ（事前申込制、会場収容人数を超えた場合にはお断りすることがあります）

【申込フォーム】<https://forms.gle/VpXpUPC2aWX2n5sA9>

【主催】東京大学グローバル中国研究拠点

【共催】京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター

【お問い合わせ】zhoujun@iss.u-tokyo.ac.jp（担当者：周俊）

【趣旨】

中国共産党の結党百年にあたる一昨年、日本では石川禎浩『中国共産党、その百年』（筑摩書房）、高橋伸夫『中国共産党の歴史』（慶應義塾大学出版会）が出版され、日本の中国研究の力量を内外に示すものとして高い評価を受けています。

このたび、中国近現代史研究の重鎮として知られる楊奎松氏の来日を機に、文革研究の最前線を走り続ける谷川真一氏をお招きし、中国経済研究の丸川知雄も参加して両書の合同書評会を開催し、多様な視点で中国共産党の百年史を議論する場を設けました。当日は濃密な議論を期して対面のみのお会合とし、江田憲治氏の司会進行のもと、評者三氏による論評のち、著者の応答、さらに総合自由討議という次第で進行します。

【プログラム】

- 1時30分 開会（開会挨拶・趣旨説明 丸川知雄）
- 1時40分 合評会開始（司会進行：江田憲治、通訳：周俊、瞿艶丹）
- 1時40分～2時10分 論評① 楊奎松
- 2時10分～2時40分 論評② 丸川知雄
- 2時40分～3時10分 論評③ 谷川真一
- 3時10分～3時30分 休憩
- 3時30分～4時10分 著者応答（高橋伸夫、石川禎浩）
- 4時10分～4時30分 評者からの第二波論評（楊、丸川、谷川〔順不同〕）
- 4時30分～5時10分 自由討議（会場で意見・質問を徴し、著者が応答）
- 5時10分～5時20分 閉幕挨拶（石川）